



タイトルバックは北炭ケーブルベルトコンベアの風景を使用しました  
(JCOAL の Instagram より引用)

## ★目次★

### JCOAL 活動報告

- ◆令和元年度 JCOAL 事業報告会を実施
- ◆月刊「時評」2020 年 2 月号に北村会長の論説文が掲載されました
- ◆月刊「ビジネスアイエネコ 地球環境とエネルギー」2020 年 2 月号に北村会長のインタビューが掲載されました
- ◆新エネルギー財団『石炭エネルギー講演会』で講演しました
- ◆「石炭技術会」の賀詞交換会を実施
- ◆ベトナムセメント最大手 VICEM グループ会社 JCOAL にご来訪
- ◆明治日本の産業革命遺産ガイド研修会への参加報告

### その他レポート／教育等

- ◆JCOAL 業務紹介＆インタビュー（技術開発部\_\_古屋憲二さん）
- ◆渋沢栄一と北海道炭礦鉄道のつながり\_\_ブログ『北の空の炭鉱女』より
- ◆大牟田市石炭産業科学館のご紹介
- ◆教えて!ニャンコール教授!番外編「石炭のイメージ?」エコプロアンケートより

### お知らせ

- ◆第 4 回次世代火力発電 EXPO 出展について
- ◆「石炭基礎講座 2020」開催延期のお知らせ
- ◆技術者セミナー開催延期のお知らせ
- ◆『石炭データブック COAL Data Book (2018 年版)』好評発売中
- ◆『石炭の開発と利用』好評発売中
- ◆『JCOAL コールバンク』の無料閲覧のお知らせ
- ◆JCOAL 会員募集
- ◆JCOAL 新規会員ご加入情報
- ◆石炭価格動向チャートを更新
- ◆「国際セミナー／会議情報」を更新
- ◆編集後記

JCOAL Magazine 購読（メール配信）のお申込みは  
[jcoal-magazine@jcoal.or.jp](mailto:jcoal-magazine@jcoal.or.jp) まで E-mail を送信ください



## JCOAL 活動報告

### ■ 令和元年度 JCOAL 事業報告会を実施

令和 2 年 1 月 30 日（木）経団連会館にて、令和元年度 JCOAL 事業報告会を実施いたしました。JCOAL 北村会長の挨拶の後、経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 石炭課長 竹廣克 様より『石炭政策について』と題して特別講演をいただきました。続いて、JCOAL 橋口専務理事による令和元年度の事業報告、そして各部による活動報告をさせていただき、最後に JCOAL 塚本理事長から閉会の挨拶をさせていただきました。

事業報告会の後、参集いただいた会員企業様との交流を図る目的で懇親会を開催させていただきました。ご来賓の世界石炭協会（WCA：World Coal Association）事務局長 Michelle Manook 様よりご挨拶と、世界における石炭の潮流のお話をさせていただき、会員企業様と有意義な時間を共有することができました。



経済産業省 資源エネルギー庁  
資源・燃料部 石炭課長 竹廣 克 様による特別講演



JCOAL 橋口専務理事による事業報告



JCOAL 北村会長  
懇親会での挨拶





世界石炭協会（WCA：World Coal Association）事務局長 Ms. Michelle Manook 様  
懇親会での歓談の様子



懇親会での歓談風景

多くの会員企業様にご参集いただき、直接ご意見をお伺いすることが出来ました。また、会員企業様同士での交流もあり、有意義な事業報告会となりました。

今後とも会員企業様と共に、石炭に関する広報活動や技術開発・普及活動を通じた社会貢献に努めていきたいと思えます。JCOAL では引き続き会員企業の加入を募集しておりますので、ご興味を持たれた企業様は下記のお電話またはメールアドレスまでご連絡いただくと幸いです。企業ではない個人の方も、「個人会員」として募集しております（個人会員の詳細はこちら <http://www.jcoal.or.jp/overview/member/personalmember/> をご参照ください）。これからも JCOAL をよろしくお願いいたします。

企画広報部



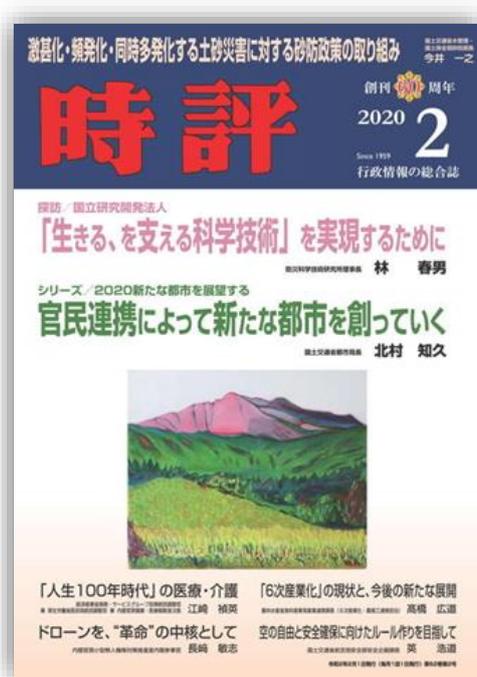
## ■ 月刊「時評」2020 年 2 月号に北村会長の論説文が掲載されました

時評社から発行される月刊「時評」(2020 年 2 月号)に JCOAL 北村雅良会長による論説文が掲載されました。

- ▶ エネルギーレポート『我々は、石炭で SDGs に貢献します』  
一般財団法人石炭エネルギーセンター会長 北村 雅良

『「2030 年までに全ての人々が affordable (手頃な価格)、reliable (安定的)、sustainable (持続可能) で、modern (近代的) なエネルギーにアクセスすることが出来るようにする」と謳われている。日本および世界における石炭を取り巻く状況に大きな変化がみられる中で、石炭を資源やエネルギーとして引続き活用しながら、私たちは SDGs にどのように貢献していくべきか、以下に論じていきたい。』

…として、我々 JCOAL がどんなことをできるのか、石炭の可能性も含め SDGs の目標を達成すべく見解を述べております。



月刊 時評 (2020 年 2 月号) 表紙  
下記、同社公式サイトより画像引用

論説文の詳細に関しましては、下記の同社公式サイトからご購入先をご参照または書籍販売店にてご購入の上、ご覧いただくと幸いです。

[時評社 公式サイト]

『月刊「時評」(2020 年 2 月号)』

<https://www.jihyo.co.jp/publish/jihyo/83831bede20d510369a54a1fdf32f33dbc313046.html>

企画広報部



## ■ 月刊「ビジネスアイエネコ 地球環境とエネルギー」2020 年 2 月号に 北村会長のインタビューが掲載されました

日本工業新聞社から発行される月刊ビジネスアイエネコ 地球環境とエネルギー（2020 年 2 月号）に JCOAL 北村雅良会長へのインタビューが掲載されました。

- 編集長が聞く！ 石炭エネルギーセンター（JCOAL）会長 北村雅良
- 『逆風も石炭火力のゼロエミッションを目指す』

『2020 年がスタートした。気候変動対策の国際的な枠組みであるパリ協定の運用が始まり、日本は、エネルギーの安定供給を確保しつつ、2050 年以降のできるだけ早い時期に CO2 排出削減にどう対応しようとしているのか。石炭エネルギーセンター（JCOAL）の北村雅良会長（J-POWER 会長）に聞いた。（本誌編集長 本田賢一）』

…として、JCOAL の事業対象の拡大／豪州褐炭水素プロジェクト／大崎クールジェンによる IGCC プロジェクト／CCUS の取組／エネルギーセキュリティと気候変動対策のバランス／世界の CO2 排出削減への貢献など、同誌本田編集長による鋭い視点の質問に答えこれからの石炭を賢く使っていく重要性についての見解を述べております。



インタビューに応じる  
JCOAL 北村会長



インタビュー風景

インタビューの詳細に関しましては、下記の同社公式サイトからご購入先をご参照または書籍販売店にてご購入の上、ご覧いただくと幸いです。

[日本工業新聞社 公式サイト]

『月刊ビジネスアイエネコ 地球環境とエネルギー（2020 年 2 月号）』

<https://www.fujisan.co.jp/product/1281687387/new/>

企画広報部



## ■ 新エネルギー財団「石炭エネルギー講演会」で講演しました

この度、一般財団法人新エネルギー財団主催（JCOAL 共催）の講演会『令和元年度 石炭エネルギー講演会』において、JCOAL も講演をさせていただきました。

有識者の方からは…

- 経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部石炭課長 竹廣克 様  
「今後の石炭関連政策について」
- 大崎クールジェン株式会社 代表取締役社長 木田一哉 様  
「大崎クールジェンプロジェクトの進捗状況について」
- 国陸研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所 所長代理 坂西欣也 様  
「カーボンリサイクル技術による石炭の再生」について

…などの講演が行われました。

JCOAL からは「最新の石炭エネルギー事情」として企画広報部の武藤憲一が講演させていただきました。同講演の他、司会を JCOAL 専務理事の橋口昌道が務めさせていただきました。



司会を務めた  
JCOAL 専務理事の橋口昌道



経済産業省 資源エネルギー庁  
資源・燃料部石炭課長 竹廣克 様



JCOAL 企画広報部  
武藤憲一



国陸研究開発法人産業技術総合研究所  
福島再生可能エネルギー研究所 所長代理  
坂西欣也 様





大崎クールジェン株式会社  
代表取締役社長 木田一哉 様



講演全景

100名ほどの方が参加され、講演内には質疑応答の時間も設けていただき、双方向的に参加された方のご意見を頂戴することができました。二度のオイルショックの後の昭和55年に、風力、太陽光、水力、地熱等の再生可能エネルギーの導入の拡大と燃料電池等の新しいエネルギーシステムの構築を推進するため産業界の総意により設立された同財団が主催する講演会は、エネルギーへの造詣深さに感心すると共に、大変勉強になりました。

今後も、新エネルギー財団様と交流を深め、石炭についての広報や技術開発・普及活動に努めて参ります。

他の講演内容等に関しましては、下記の公式サイトをご参照いただけると幸いです。

[一般財団法人 新エネルギー財団 公式サイト]

『令和元年度 石炭エネルギー講演会』

<https://www.nef.or.jp/topics/2019/20191127.html>

『新エネルギーとは?』

<https://www.nef.or.jp/pamphlet/>

企画広報部



## ■「石炭技術会」の賀詞交換会を実施

令和 2 年 1 月 17 日（金）JCOAL オフィス内の会議室にて、令和 2 年度の石炭技術会賀詞交換会が 51 名の参加を得て開催されました。令和になってから初めての賀詞交換会であると同時に、昨年までの伊木賞委員会との合同賀詞交換会から石炭技術会単独開催に変わった記念すべき賀詞交換会となります。最初に石炭技術会の井上雅弘会長の挨拶があり、次いで来賓の経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部石炭課長 竹廣克 様のご挨拶の後、独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 石炭開発部長 大岡隆様の音頭で乾杯しました。その後、終始和やかな雰囲気の中で懇談が進行しました。懐かしい思い出話や近況報告、情報交換などの話の輪ができ、親睦を深めました。

石炭技術会は前身の全国炭鉱技術会が発展的に解消したあとを引き継ぐ形で平成 7 年に設立された会です。設立から 25 年目を迎え、会員の高齢化が進む中で、今回は JCOAL 実施事業と関わりのある社会人研修や学生研修などの参加者に声をかけ、構成メンバーに若年層も取り入れるよう努めました。その結果、フレッシュな方々にもご参集いただき、例年にも増して盛会となりました。JCOAL 塚本理事長の挨拶と中締めがされ、石炭技術会の今後の発展を祈念しつつ参集いただいた皆様は、次回の再会を約束され、適時解散されました。

尚、同賀詞交換会の前には、石炭技術会の令和 2 年通常総会が実施され、令和元年の事業報告／収支決算／会計監査報告／令和 2 年の事業計画／収支予算計画の審議が行われました。以降も石炭技術会の継続的な運営に必要な経費の確保に努めることとなっております。

石炭技術会の目的は、「石炭技術に関する調査・研究及び交流等の事業を行い、石炭技術の涵養・向上並びに海外移転等に寄与し、ひいては我が国の石炭安定供給の確保に資すること」とされています。かつては日本の石炭技術を牽引してきた名誉ある会でしたが、時代の流れとともにその役目が変わりつつあります。今後も石炭技術会の興隆と活動に努めてまいります。



JCOAL 塚本理事長の挨拶



懇談風景

国際事業部 内藤博



## ■ ベトナムセメント最大手 VICEM グループ会社 JCOAL にご来訪

ベトナムセメント最大手 VIETNAM CEMENT INDUSTRY CORPORATION（略称 VICEM グループ）の関係企業の方々（VICEM But Son セメント会社ド・ティエン・チン社長以下 11 名の方）が令和 2 年 2 月 3 日（月）に JCOAL を訪問されました。

日本のセメント業界の廃棄物利用状況を調査する目的で来日されたおりに訪問されたものです。過去には、JCOAL が排熱発電の FS(事業可能性)調査で同グループをサポートした経緯があります。VICEM グループは 120 年の歴史を有し、年 3000 万トンのセメントを生産する大きな産業主体として、地球温暖化対策への問題意識が非常に高い企業でもあります。

今回のご来訪で、日本のセメント産業の廃棄物利用技術のみならずカーボンリサイクル技術についても活発な情報交換が行われ、今後日本からの技術導入を是非図りたいとの希望が VICEM 側から表明されました。



情報交換会の様子



情報交換後、参加メンバーで記念撮影をしました

国際事業部



## ■ 明治日本の産業革命遺産ガイド研修会への参加報告

世界遺産に登録されている「明治日本の産業革命遺産（製鉄・製鋼、造船、石炭産業）」は、江戸末期から明治期にかけて日本の重工業の近代化の歴史を示す遺産群です。これらのガイドブックになる『石炭がわかる本』の作成に参画した JCOAL は、ガイド研修会での講演依頼を受け、2020 年 1 月開催の九州 3 地区の研修会（三池[令和 2 年 1 月 15 日]、八幡[同年 1 月 16 日]、長崎[同年 1 月 31 日]）にて、石炭の歴史、エネルギー分野での役割等について、ボランティア・ガイドの皆様への講演を行ないました。本研修会は、国内 8 エリアに渡る「明治日本の産業革命遺産」のガイドの皆様の知識及び能力の向上を図るための文化庁の事業で、一般財団法人産業遺産国民会議、NPO 法人里山を守る会、各自治体の協力のもと、JCOAL は特に 3 地区の石炭産業部分の講話を担当しました。各地区とも参加者は希望者多数の中 50~60 名程度で、（推定年齢層）40~70 歳台の人生経験豊富で各地域の遺産群への熱い思いをお持ちのボランティア・ガイドの皆様が参加されました。

各地区の 1 日の研修プログラム概要を下記に示します。

【研修スケジュール時間：9:30~16:10】

1. 受付、開会挨拶、研修プログラム説明
2. 石炭分野に関する講演（60 分）[担当講師]JCOAL 職員
3. 造船分野に関する講演（60 分）[担当講師]造船メーカーOB、大学教授、官公庁 OB 等
4. 産業革命遺産、製鉄・製鋼、造船、石炭産業に関する質疑、議論（60 分）
5. インタープリテーション戦略の現状と展望（60 分）  
[担当講師]一般財団法人産業遺産国民会議 加藤専務理事
6. ガイドアプリ紹介、記念写真撮影

同研修での質疑応答に際し、「COP25 報道等で石炭の利用に関わる小泉環境大臣発言や日本のみが悪く批判されており、研修講義で紹介された資源、エネルギーとしての石炭の重要性を世界、社会に頑張って PR してください。」とエールをいただく場面もありました。石炭に対する一般の皆様のお考えやご意見をすることは、今後の JCOAL の活動にも貴重な体験となるものと感じました。



三池地区 会場の講和風景

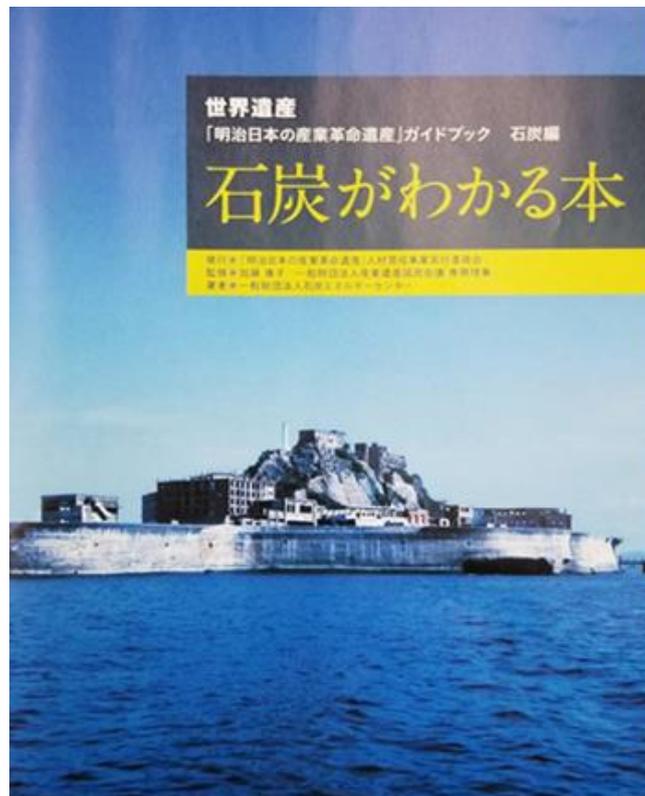


長崎地区 会場の講和風景





八幡地区 会場の講和風景  
一般財団法人産業遺産国民会議  
加藤康子専務理事 ご講演



世界遺産「明治日本の産業革命遺産」  
ガイドブック 石炭編  
石炭がわかる本 表紙

上記画像にも掲載しております、『石炭のわかる本』についてご質問がございましたら、JCOAL 企画広報部（下記お電話または e-mail）までお問い合わせいただけると幸いです。よろしくお願いいたします。

企画広報部 武藤憲一／鎌田淳一

一般財団法人石炭エネルギーセンター 〒105-0003 東京都港区西新橋 3-2-1  
Daiwa 西新橋ビル 3F 電話 03(6402)6106 FAX03(6402)6110  
購読メール配信のお申込／お問い合わせ⇒[jcoal-magazine@jcoal.or.jp](mailto:jcoal-magazine@jcoal.or.jp) まで



## その他レポート／教育等

### ■ JCOAL 業務紹介 & インタビュー (技術開発部\_\_古屋憲二さん)

JCOAL でメンバーがどんな活動をしているのか、JCOAL スタッフにインタビューする第 8 弾。  
今月は技術開発部の古屋憲二 (ふるやけんじ) さんです。  
インタビュアーのアッシュ君が今回も聞きました。

いろいろなお話を聞かせてくれたよ！



アッシュ君



JCOAL オフィス入り口前にてパチリ

- 「どんなお仕事をされているの？」

**石炭ガス化複合発電 (IGCC) などから副生される石炭ガス化スラグの有効利用に関する仕事を  
しているよ。コンクリート用スラグ骨材の JIS 化に向けた取組だよ。**

- 「なんか難しそう感じたね…どんなことをしているの？」

一般財団法人 日本規格協会 (JSA) と JIS 原案作成委員会を開催するなどして、この 1 年取り組んでいったんだ。

- 「骨材？」

コンクリートの調合に必要な材料で、主には砂利や砂のことを指すよ。コンクリートは水／セメント／骨材の 3 つを混ぜて作られているんだ\*1。

コンクリート用スラグ骨材には、高炉のスラグ (第 1 部) / フェロニッケルのスラグ (第 2 部) / 銅のスラグ (第 3 部) / 電気炉の酸化スラグ (第 4 部) などがあり、JIS 化されているんだよ\*2

- 「なるほど。で、今回は石炭ガス化スラグの JIS 化をしているんだね」

今回は、IGCC など排出される石炭ガス化スラグを JIS 化するにあたり、『規定値』を検討し確定させることをしていたよ。



**今回の JIS 化は土木・建築、かつ、化学の知識が必要とされるものなんだ。  
委員会のメンバーはもちろん、委員会以外の関係者にも相談を重ねてコミュニケーションを取りながら慎重に決めていったよ。**

- 「決めなければならない項目ってどれくらいあったの？」

何百はないけれども、何十項目はあったんだ。数値が固定されていると決めやすいけれど、ブレ幅が大きい時などは“いくつぐらいまでを規定値とすべきか”を検討し決めていったんだ。



お仕事中、お邪魔して撮影  
お電話対応の様子

- 「今年から始められている事業なの？」

2015 年度から経済産業省事業として JCOAL は有識者のみなさんと研究を開始していたんだ。2018 年度（昨年度）までは NEDO 事業として、JIS 化に必要な各項目のデータを収集。今年度も足りないデータは補充をしていたよ。

- 「これからの予定はどうなっているの？」

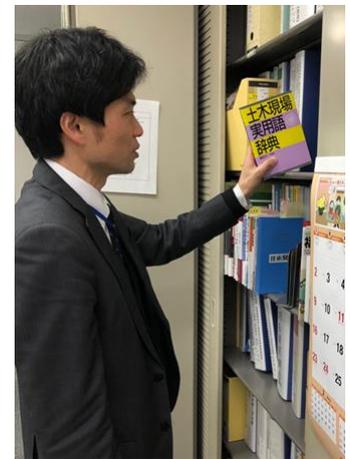
今月（2 月）末には JIS 化の原案を JSA に提出し、その後経済産業省で審議がされて、来年度中の制定をめざしているよ。

**目標は、今回のコンクリート用スラグ(石炭ガス化スラグ)が確実に JIS 制定されること。**

- 「無事に制定されるといいね！」

来年度以降は、同 JIS 化の“次”を見据え、IGCC などの石炭ガス化スラグの有効利用拡大に向けてさらに取り組むよ。

- 「IGCC などの石炭ガス化スラグが有効利用される例が増えたら、ほくもがんばってみんなに紹介していくよ！」



調べものを  
されているようです

**今は石炭ガス化スラグの取組を主な業務にしているけれども、主業務以外でも会員企業とコミュニケーションをとって交流を図りたいと思っているんだ。**

- 「今後、仕事の目標があれば教えて！」

今回のお仕事でも色々な業種の方から学ぶことは多いってことを経験させていただいたので、もっとその幅を広げたいなとも思っているんだ。





コーヒープレイク中  
眩しい笑顔をいただきました



「石炭は挑む」ポスターの前で  
アッシュ君・コール君・ニャンコール教授と

- 「仕事以外でなにか『やってみたいこと』ってある？」

**1 週間くらいのまとまった休みがほしいかな。台湾はかつて仕事の都合でのべ 4 年ほど住んでおり大好きな場所でもあります。こどもと一緒に家族で阿里山森林鉄道にも乗ってみたいです。**

- 「蒸気機関車が走る鉄道だよね！楽しそう！」

- 「今日は色々なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。」

#### 【取材を終えて\_\_アッシュ君より】

JCOAL 入社前には、LNG 火力発電所の運営など電気に関する業務にも従事されていたとのこと。LNG の事を詳しく知らなかった私に、LNG のメリット・デメリットもとても解りやすく説明してくれました。

石炭火力と LNG 火力、発電の仕組みや脱硫・脱硝の仕組みも簡易的に解りやすく教えてくれました。難しいことを、短くも解りやすく教えることのできる人はとても知見・経験の豊富な人だと思いました。同時に、JIS 化というともすればとても難しそうな作業も慎重かつ丁寧にされていたという事がうかがえます。

阿里山森林鉄道についても、鉄道的特徴だけではなく、立地についてなども教えてくれました。今は新型コロナウイルスの影響で訪れる難しいかもしれませんが、家族での台湾旅行が実現すると良いですね。

今回はお仕事や色々な事をおしえていただき、ありがとうございました。

#### 【参考サイト】

※1 骨材とは？1 分でわかる意味、種類、割合、粗骨材と細骨材の違い、コンクリートとの関係

<http://kentiku-kouzou.jp/struc-sokotusaikotutigai.html>

※2 JIS 規格一覧 (コンクリート用スラグ骨材 JIS 化されているもの)

<https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0070/index>

企画広報部





そして、その渋沢栄一氏と言えば、2019年9月に、第60作目となる（2021年開始）NHK大河ドラマの主人公のモデルとなることが発表※1 されました。その主人公を務める俳優には、若い女性に人気の高い吉沢亮氏を起用というのも話題になっています。俳優の吉沢亮さんは2019年の朝ドラ（朝の連続テレビ小説）「なつぞら」でヒロインの幼馴染「山田天陽」役も演じています。若くして志半ばに他界してしまう画家兼農家の好青年を演じ、若い女性だけでなく様々な方に高い評価を得て人気を博しています。朝ドラから大河ドラマ、北海道つながりで…北海道炭礦鉄道の事も出たら良いなと思いますが、何せ500社以上の会社に関わった“日本資本主義の父”とも呼ばれる方なので、可能性は低いかもしれませんが…。しかし、渋沢栄一氏の炭鉱関連の情報も網羅されている「ブログ 北の空の炭鉱女」のおかげで、来年の大河ドラマも楽しみにになりました。



来年の大河ドラマ「青天を衝け」より  
(下記 NHK 公式ページより引用)

※1 NHK「大河ドラマ 青天を衝（つ）け」

<http://www6.nhk.or.jp/nhkpr/post/original.html?i=20240>

[参考にしたサイト]

公益財団法人 渋沢栄一記念財団「発起人の一人として北海道炭礦鉄道創立出願」

<https://www.shibusawa.or.jp/eiichi/yukarinochi/topic/J-0097.html>

Wikipedia「北海道炭礦鉄道」

<https://ja.wikipedia.org/wiki/北海道炭礦鉄道>



『北の空の炭鉱女』ブログ トップページバナー

『北の空の炭鉱女』ブログサイト：<https://yamaonna.hateblo.jp/>

企画広報部



## ■ 大牟田市石炭産業科学館のご紹介

三池の世界遺産を有する大牟田市。前出の「明治日本の産業革命遺産ガイド研修会への参加報告」で三池地区に赴いた際、大牟田市石炭産業科学館（以下、同館）を訪れましたので紹介致します。

JR九州および西日本鉄道の「大牟田駅」からのアクセスが可能で、空飛び円盤のようなユニークな建屋が現われます。同館は平成 7 年 7 月 22 日に開館、今年で開館 25 周年を迎えます。

暮らしを支える石炭やエネルギーに関する常設展示や企画展示等から三池炭鉱の歴史や、石炭に関わる技術について学べます。また、ダイナミックトンネル（模擬坑道）があり、坑内作業の迫力をエキサイティングに体験できます。三池炭鉱関連施設に関する情報コーナーでは、「明治日本の産業革命遺産の構成資産」として世界文化遺産に登録されている内容についても学べます。

三池へ赴かれる方にお勧めする方法は、まず事前に同館ホームページ（下記）で情報収集をしておき、同館を見学された後に、大牟田市内に現存する三池炭鉱の関連施設にも訪れ見学されることをおすすめします。訪れた施設や三池炭鉱についてより理解が深まります。そして同館には親切に説明をされる職員の方も多く、三池炭鉱について知りたかったことなどを職員の方にお尋ねされることもおすすめします。

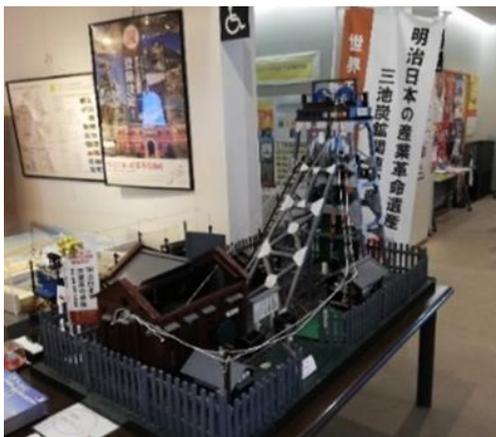
石炭技術の発展に携わった人たちの熱い思いと努力の足跡に触れてみるのはいかがでしょうか。

### 【参照 URL】

大牟田市石炭産業科学館ホームページ（公式）<http://www.sekitan-omuta.jp/topic/index.html>  
広報おおむた web [http://www.city.omuta.lg.jp/kouhou-web/15-07-01/tokusyuu\\_01.htm](http://www.city.omuta.lg.jp/kouhou-web/15-07-01/tokusyuu_01.htm)



まるで UFO? のような大牟田市石炭産業科学館の外観



一般の方から寄贈された  
手作りの炭鉱設備模型



ダイナミックトンネル（模擬坑道）内の採炭用カッター

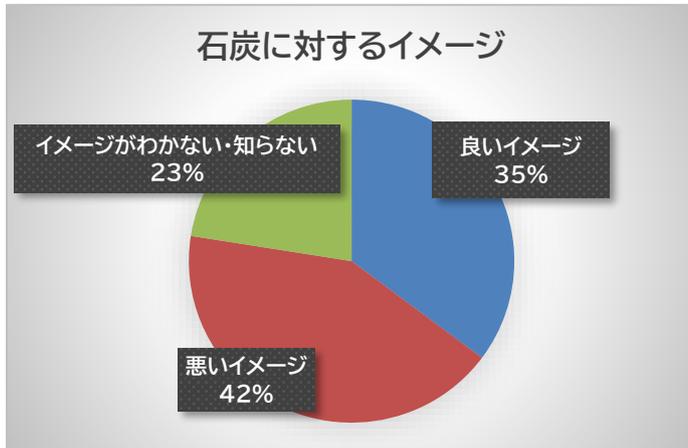
企画広報部 武藤憲一



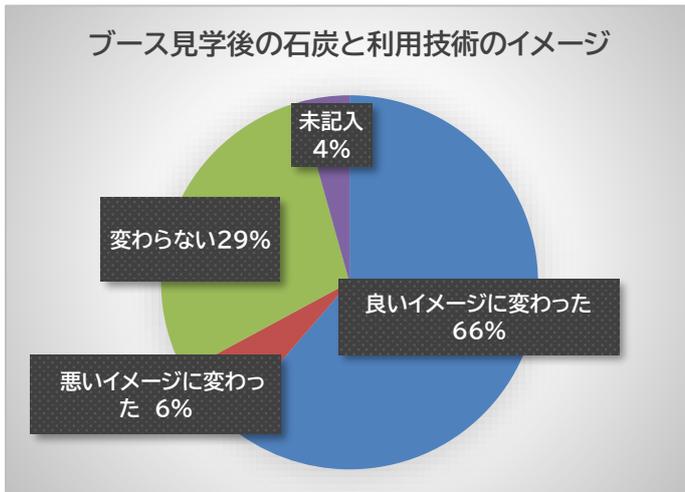
## ■ 教えて！ニャンコール教授！番外編「石炭のイメージ？」エコプロアンケートより

JCAOL Magazine245号（2019年12月24日）でエコプロ出展を報告

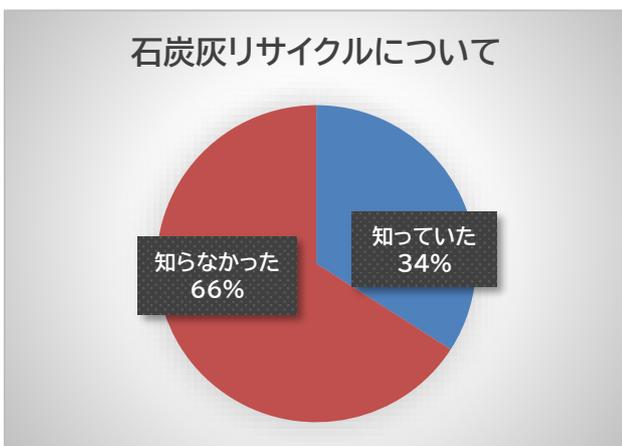
（<http://www.jcoal.or.jp/newspdf/JM-245.pdf>）しておるのじゃが、今回はエコプロ出展でアンケートを実施しておるぞい。どんな声が多かったか紹介するぞい。



これが、ブース見学前の「石炭に対するイメージ」じゃ。半分弱くらいの方には「悪いイメージ」を持たれ、3割強の方は「良いイメージ」を持たれ、2割ほどの方は「知らない」と答えていたぞい。石炭を紹介するブースだったから（展示を見てアンケートに答えてくれる人自体が）石炭に興味をもっておる前提の方も多かったとは思うが、「通りすがりですが見学しました」と記載していただいた方も多く、一般的な視点に近い回答ともとれる結果じゃ。



そして、こちらがブース見学後の「石炭に対するイメージ」じゃ。「悪いイメージに変わった」という回答が6%と、ブース見学前の「悪いイメージだ」という人よりずいぶん減っておる。悪いイメージを持っていたけれども、ブースのクリーンコールテクノロジーや、石炭灰の利用などを知ることで、イメージが変わったのだと思う。



ほく（石炭灰）についてのアンケートもあるんだね！

そうじゃのう。石炭火力発電所で発生する石炭灰の再利用・リサイクル技術についても展示しておったのじゃが「知らなかった」という人が半数を超えておったぞい。



自由記載欄に書かれていた内容をご紹介します

## 「エネルギーに興味があった」

- 一番多かったご意見じゃ。エネルギーの勉強として見学してくれた方が多かったぞい。
- 「悪いイメージ」を持っていたが、ブース紹介を見学して「良いイメージ」に変わったことについて、このようなお意見があったぞい。
  - 「ニュースなどで悪者にされているため、メリットはしっかりPR すべきと思った」
  - 「石炭イメージがよくなるようなお話だった。誤解が世間にあるように思うので、授業で広めていければと思う」
  - 「石炭＝火力発電＝悪のようなイメージがメディアの影響が浸透してしまっていると思う。今回の展示を通して少しでもイメージが良くなると良い」
  - 「石炭はライフサイクルで考えると CO2 排出がトップであるので、良いイメージを持たなかったが、モザンビークなどの発展途上国のことを考えると、まだまだ需要があるものだと感じた」
  - 「安全に使用されるのであれば活発に活用されてほしい」
- 石炭以外にも、CO2 や水素や石炭灰などについても感想を書いてくれておるぞい。
  - 「石炭が水素原料として重要、いずれ見直される」
  - 「CO2 回収とか薬にも使われているなど、良いイメージの宣伝をしたら良いと思う。」
  - 「コンクリートができるのは知らなかった」
- 石炭を知る機会そのものは、なかなか無いようじゃ。我々に何が出来るのか宿題であろう。
  - 「使い方含めてもう少し知りたい。使い方(量、国、技術)を考え、組み立てて説明する機会があると良いと思った」
  - 「石炭について詳しく知る機会があまりなかったのがよかった」
- 厳しいご意見も(件数は少ないのじゃが)書いてもらえたのじゃ。これも我々の課題じゃ。
  - 「石炭火力の問題、もっと説明が必要」
  - 「脱石炭の流れの中でどう考えているか知りたい」
  - 「今時、石炭で何をアピールしているのか？」
- そして沢山の声援も貰えたぞい。
  - 「もっと石炭への理解がされるように頑張ってください」



沢山もらえたうちの、ごく一部のみを代表して紹介したぞい。  
皆さん、率直な意見や感想を書いてくれたり、その場でお話してくれたりしていただけたぞい。  
知ってもらえると、良いイメージになったという人が多いのはカギじゃろう。もっと、多くの人に石炭を知ってもらおうということをこれからも取り組んでいくぞい。



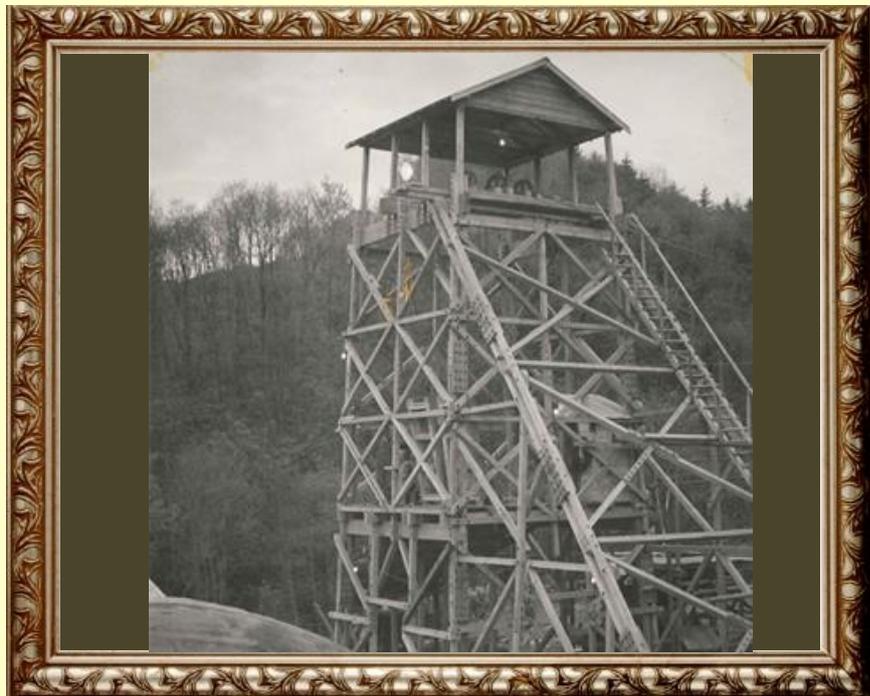


## アッシュ君のひとこと

今回の古屋さんのインタビューに出てきた、台湾の阿里山森林鉄道(運転再開)については、追って紹介をするよ！  
コラムもまた紹介するので楽しみにね！

「教えて！ニャンコール教授」のコーナーでは、みなさんからの質問を受け付けております。どんなことでも、ニャンコール教授が答えます！ページ下記までご連絡お待ちしております。

## ～炭鉱アーカイブス～



JCOAL の Instagram よりご紹介。  
今回の写真は『東幌内炭鉱排気立坑櫓』です。  
★JCOAL の Instagram では日本各地の炭鉱の写真を紹介しています★



## お知らせ

### 第 4 回次世代火力発電 EXPO 出展について

今回の火力発電 EXPO の出展は、新型コロナウイルスによる肺炎の影響を鑑み、無人にて出展をさせていただきますことになりました。

出展についての詳細は JCOAL ホームページをご参照ください

<http://www.jcoal.or.jp/news/2020/02/expo.html>

- 日程：2020 年 2 月 26 日（水）～28 日（金） 10:00～18:00（最終日のみ 17:00 まで）
  - 会場：東京ビッグサイト 西展示棟
  - 入場料：無料（事前登録・招待券制）（※招待券をお持ちでない方は 5,000 円の入場料）  
→同マガジン最終ページに招待券を添付しております。招待券の無い方はご利用ください。
  - 主催：リード エグジビション ジャパン株式会社
- 第 4 回次世代火力発電 EXPO（公式ホームページ）：<https://www.thermal-power.jp/ja-jp.html>  
JCOAL ブースの紹介：<https://d.wsew.jp/ja/Expo/6850597/JCOAL>

### 「石炭基礎講座 2020」開催延期のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

一般財団法人石炭エネルギーセンター（JCOAL）では、本年 3 月 19 日に「石炭基礎講座 2020」の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況下において、本講座の参加者及び関係者の健康を最優先とするため、開催を延期することと致しました。

なお、今後の開催日程につきましては未定でございます。時期を改めましてご案内致します。既にお申し込みを頂いていた方々には、心よりお詫び申し上げます。

今後とも JCOAL の活動につきまして、御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます、

JCOAL 資源開発部長  
串田 智



## 技術者セミナー開催延期のお知らせ

一般財団法人石炭エネルギーセンター（JCOAL）では、3月17日に「技術者セミナー」の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、感染防止・安全確保を最優先とするため、開催を延期することとさせていただきます。

なお、開催時期につきましては未定でございますが、状況を判断した上で、改めてお知らせいたします。ご迷惑をおかけして申し訳ございません。

JCOALでは、今後も会員の皆様のご要望を取り入れながら、引き続き「技術者セミナー」を開催していく所存ですので、今後ともよろしく願いいたします。

JCOAL 技術開発部長

富田 新二

TEL 03-6402-6103

e-mail [mori@jcoal.or.jp](mailto:mori@jcoal.or.jp)

担当：森



## 「石炭データブック COAL Data Book(2018 年版)」好評発売中

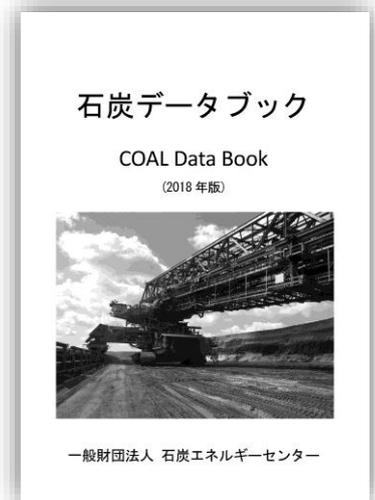
JCOAL では「コール・ノート」に変わる石炭専門のデータ本として、昨年『石炭データブック COAL Data Book (2017 年版)』を刊行。この度、2018 年の最新データにて更新した『石炭データブック COAL Data Book (2018 年版)』の発売をしております。

2017 年版に引き続き、石炭の世界の埋蔵量、生産量、消費量および石炭に関する各国の状況をデータ中心にまとめております。主要産炭国の基本情報や政策、電力事情等の情報も更新しております。

この機会にぜひお買い求め頂けると幸いです（購入方法および各項目の詳細は、下記 URL をご参照ください）。

版型\_A5 版 / 定価\_2,500 円+税

販売中（下記サイトより購入方法をご参照ください）



<http://www.jcoal.or.jp/publication/coalDataBook/2018.html>

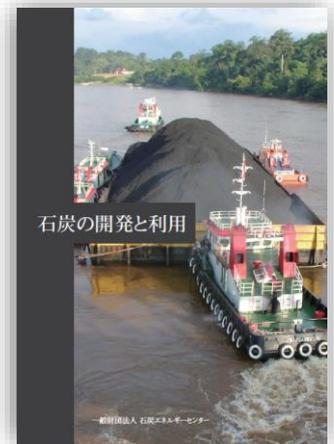
## 「石炭の開発と利用」好評発売中

石炭の上流部門から下流部門までの基本的なノウハウを図や写真などを交え、専門的な技術をわかりやすく記述した書籍となっております。

『石炭とは何か?』『どうやってできたのか?』から始まり、『石炭採掘方法から販売まで』『クリーンコールテクノロジー』『環境への配慮は?』等、石炭について知りたい情報を読みやすくまとめました。一般の方から専門家まで、この機会にぜひお読み頂けると幸いです。

版型\_A5 版（183 ページ） / 定価\_3,000 円+税

販売中（下記サイトより購入方法をご参照ください）



<http://www.jcoal.or.jp/publication/coalDevelopment/development.html>



## 「JCOAL コールバンク」の無料閲覧のお知らせ

JCOAL コールバンクは、もうご覧になられましたか？

(一部データは事前連絡が必要ですが) 基本は無料で参照可能となっております。

※『Internet Explorer』では参照がエラーになる場合もありますが、『Google Chrome』だと参照可能となる事もあります (Google Chrome は無料でダウンロード可能となっております)。

まずは<http://www.jcoal.or.jp/coalbank/>をインターネットで参照すると以下のページが出ます。

The screenshot shows the JCOAL Coal Bank website. The main content area is titled "JCOAL コールバンク (石炭の産地・性状データベース)". Below the title, there is a paragraph explaining the service: "JCOALでは、NEDOからの委託を受けて企業や大学・研究機関等のCCT開発やCCT事業化を効率的に支援することを目的として、世界各国の石炭に関する品質、特性等のデータを管理し、情報および実サンプルを提供する「JCOALコールバンク」を開発し、2018年4月から新運用を開始しています。"

Below this paragraph, there are two main sections:

- JCOALコールバンクの特徴は以下のとおりです。**
  1. 無煙炭、遼青炭、亜遼青炭、褐炭まで世界中の100を超える様々な炭種が登録されています。
  2. データの分析はJCOALの責任の元で実施しております。
  3. データの閲覧は無料です。
  4. 登録石炭の実サンプル提供が可能です。(有償)
- 想定される活用事例**
  1. 石炭調達の際、産炭地の炭種を把握するのに利用。
  2. 複数の研究機関が共通のサンプル炭で試験することにより、試験結果が異なる条件の違いに焦点を絞った比較検討や議論

At the bottom of the page, there is a navigation bar with links for "サイトマップ", "関連リンク", "個人情報保護方針", "免責事項", and "お問い合わせ". There are also social media icons for Twitter, Facebook, and Instagram.

(※初めてデータを参照する際は、アンケートおよびメールアドレスのご質問があります。)





## JCOAL 会員募集

JCOAL は当センター活動にご賛同頂ける皆様からのご支援とご協力により運営されております。会員にご入会頂き、事業や調査研究などにご参加頂けると幸いです。御座います。  
※会員企業の方は、専用のウェブサイトのご利用が出来ます。(コールデータバンク等)の他、会員様限定のサービスなどございます。詳しくはホームページをご参照下さい。

(<http://www.jcoal.or.jp/overview/member/support/>)

会員ご入会に関するご質問・お問合せは TEL 03-6402-6106/e-mail [jcoal-pr@jcoal.or.jp](mailto:jcoal-pr@jcoal.or.jp) 企画広報部にてお承りしております。よろしくお願いいたします。



(会員様専用のサイト「コールデータバンク」)

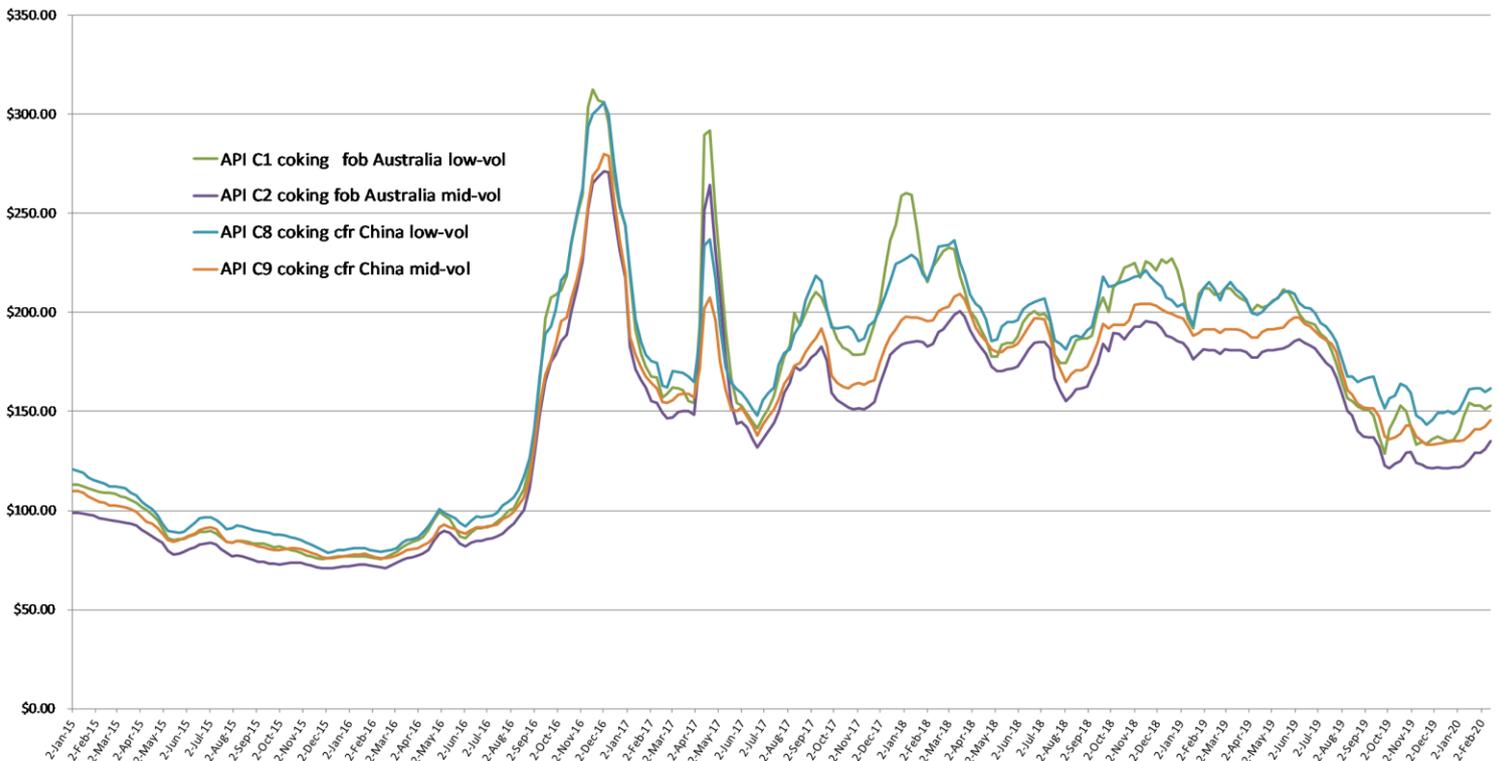
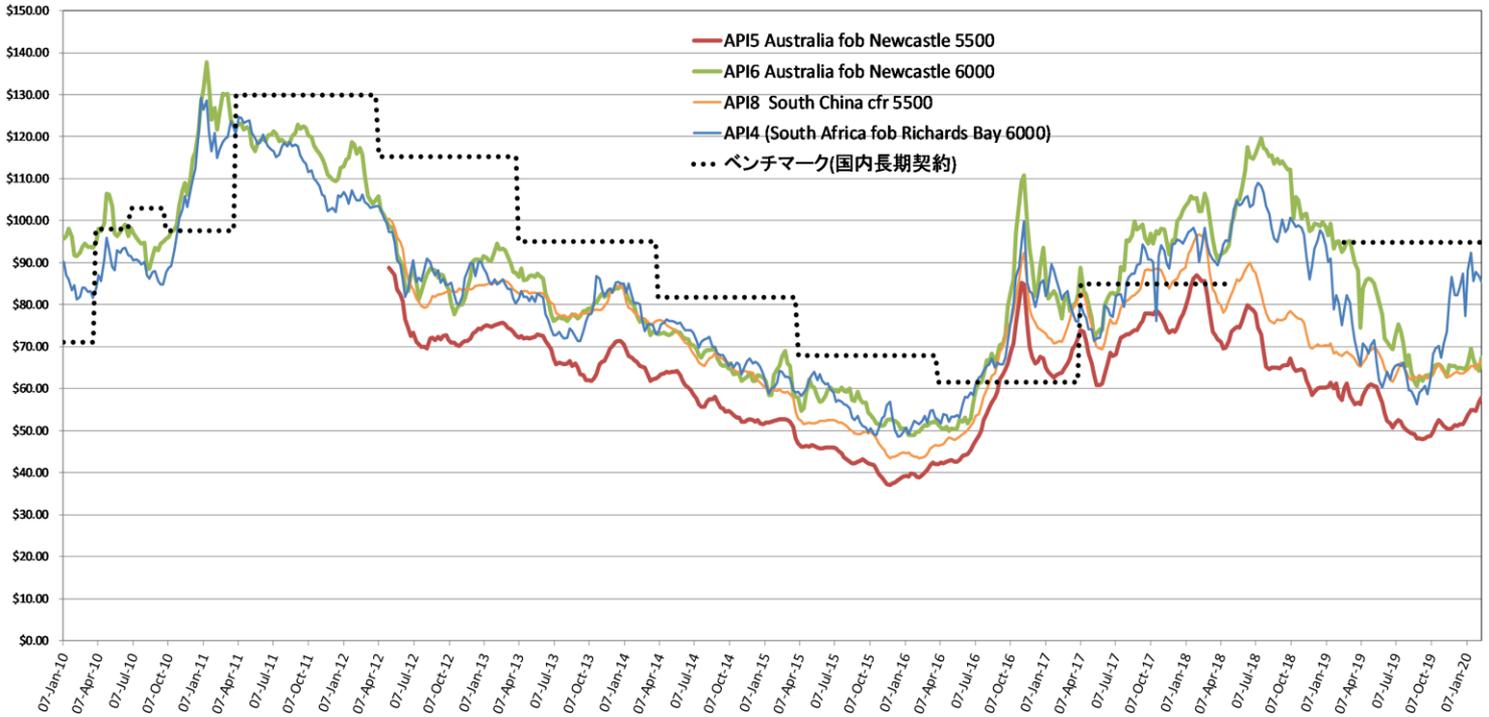




## 石炭価格動向



### Argus/McCloskey's Coal Price Index



## 国内セミナー／会議情報

### 東京大学 エネルギー工学連携研究センター

各開催詳細はこちら→<https://www.energy.iis.u-tokyo.ac.jp/html/seminar.html>

### 一般財団法人 日本エネルギー経済研究所

各開催詳細はこちら→<https://eneken.iej.or.jp/seminar/index.html>

### 独立行政法人 国際協力機構(JICA)イベント・セミナー情報

各開催詳細はこちら→<https://www.jica.go.jp/event/>

### 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)イベント・セミナー情報

各詳細はこちら→<http://www.nedo.go.jp/search/?type=event>

### 公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)

各詳細はこちら→<https://www.iges.or.jp/jp/research/event.html>



## 国際セミナー／会議情報

### **Argus Asia Ferrous Conference (27-28 Feb 2020)**

Bangkok, Thailand

<https://www.argusmedia.com/en/conferences-events-listing/asia-ferrous?>

### **Future of Mining Australia 2020 (23 Mar 2020)**

Sydney, NSW, Australia

<https://australia.future-of-mining.com/>

### **NCTA 2020 Spring Conference (6-9 Apr 2020)**

Talking Stick Resort, Scottsdale AZ

<https://movecoal.org/calendar/2020-spring-conference>

### **2020 ELECTRIC POWER Conference & Exhibition (14-17 Apr 2020)**

Denver Colorado, USA

<https://www.electricpowerexpo.com/>

### **EXPOMIN 2020 (20-24 Apr 2020)**

Santiago, Chile

<https://www.expomin.cl/en/>

### **Coal Processing Technology (CoalProTec) Conference and Exhibit (20-21 Apr 2020)**

Lexington, Kentucky, USA

<https://www.coalprepsociety.org/ViewEvent.aspx?ID=7>

### **Eurocoke Summit (27-29 Apr 2020)**

Amsterdam Netherlands

<https://www.eurocokesummit.com/>

### **2020 18th Australian Coal Preparation Conference and Exhibition (25-28 Aug 2020)**

Tamworth NSW Australia

<https://www.worldcoal.com/events/2020-18th-australian-coal-preparation-conference-and-exhibition/>

### **MINExpo INTERNATIONAL 2020 (28-30 Sep 2020)**

Las Vegas Convention Center, Nevada, USA

<https://www.minexpo.com/>

### **2020 International Pittsburgh Coal Conference (8-11 Sep 2020)**

Pittsburgh, Pennsylvania, USA

[https://www.engineering.pitt.edu/Sub-Sites/Conferences/PCC/\\_Content/2020-Conference/](https://www.engineering.pitt.edu/Sub-Sites/Conferences/PCC/_Content/2020-Conference/)





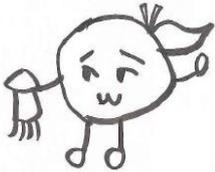
編集長・岡本：

いつもご購入頂き心から御礼申し上げます。

さて、当方は子供の頃から鉄道が好きでした。厳密に申し上げますと、当時乗った事もないロマンスカーが一番好きで、その次が蒸気機関車、その次に新幹線でした。

当方が幼少の頃ローカル線では蒸気機関車が未だ走っておりまして、福島県の会津線(只見線)も現役ばかりでございました。夏休みに親戚の家へ行くのが楽しみで、単線の線路付近で機関車が通るのをわくわくしながら待っていたものです。山の向こうからポー

ッ!!!と汽笛が聞こえ、あの独特の蒸気機関の車輪の音が一定のリズムを刻みながら近づいて来る高揚感は今でも忘れられません。今年は何処かで見ることが出来るでしょうか？



編集・水澤：こんにちは。アッシュ君としても頑張っております、水澤です。重度の花粉症でもあるのですが、あまりにマスクが入手できなく「手作りマスク 作り方」と検索して自家製マスクを作ってみました。編集長岡本も、お向かいの席の Y 氏も「まるで既製品」のような出来に対し、家庭科の授業感がぬぐえない自己作品(汗)。でも、花粉等が顔にダイレクトに付くのは避けられそうです。出来栄はさておき(汗)針と糸でひたすらに布に縫う行為は、まさに写経の如くな時を過ごしていました。一心不乱に縫う私に「なにちてるの？」と肩に乗って何度ものぞきこんでくる文鳥のなんと愛らしいこと…。縫うのが楽しかったので実家の家族分を作ってみようかと思いました。

JCOAL Magazine のご感想・ご意見をお聞かせ頂けると幸いです。

次号は『JCOAL 担当にインタビュー』、『JCOAL 活動報告』、『国際ニュース』など様々なトピックでお送りします。

JCOAL の各 SNS アカウント



★Twitter <https://twitter.com/japancoalenerg1>

★Facebook <https://www.facebook.com/japancoalenergycenter/?ref=bookmarks>

★Instagram <https://www.instagram.com/sekitanenergycenter/>

★フォローお待ちしております★

JCOAL Magazine 購読(メール配信)のお申込みは  
[jcoal-magazine@jcoal.or.jp](mailto:jcoal-magazine@jcoal.or.jp) まで E-mail を送信ください

★JCOAL Magazine に関するお問い合わせ並びに**情報提供・プレスリリース**等は [jcoal-magazine@jcoal.or.jp](mailto:jcoal-magazine@jcoal.or.jp) にお願ひします。

★登録名、宛先変更や配信停止の場合も、[jcoal-magazine@jcoal.or.jp](mailto:jcoal-magazine@jcoal.or.jp) 宛ご連絡いただきますようお願いいたします。

★JCOAL メールマガジンのバックナンバーは、JCOAL ホームページにてご覧頂けます。

<http://www.jcoal.or.jp/publication/magazine/>



一般財団法人石炭エネルギーセンター 〒105-0003 東京都港区西新橋 3-2-1

Daiwa 西新橋ビル 3F 電話 03(6402)6106 FAX03(6402)6110

購読メール配信のお申込/お問合わせ⇒[jcoal-magazine@jcoal.or.jp](mailto:jcoal-magazine@jcoal.or.jp) まで



同僚、取引先の皆様にも転送・配布ください。  
ご来場の際は、この画面を紙に出力し、会場までご持参ください。

# 招待券

世界最大級!

エネルギー展 合計で **1,520社** <sup>※1</sup> が出展

スマートエネルギー Week 2020 内

第4回

# 次世代 火力発電 EXPO

発電システム・保守・プラント 設備などが出展

会期: 2020年2月26日[水]~28日[金] 10:00~18:00  
(最終日のみ17:00終了)  
会場: 東京ビッグサイト

主催: リード エグジビション ジャパン(株)  
共催: (一社)火力原子力発電技術協会

本券をお持ちでない場合、入場料 ¥5,000/人。18歳未満の方の入場は固くお断りします。最新情報はWebへ ▶ [www.thermal-power.jp](http://www.thermal-power.jp)



**共催者**  
(一社)火力原子力発電技術協会  
会長 島本 恭次 (関西電力(株)取締役 常務執行役員)  
電力、プラントなど1,520社が加盟する本分野、日本最大の業界団体。本展を通して、最新情報を提供し、火力発電産業の発展を目指す。



**協賛**  
(一財)石炭エネルギーセンター  
会長 北村 雅良 (電源開発 会長)  
クリーンな石炭利用の普及・推進を目的に、資源や環境、エネルギー等178社の会員を有する業界団体。業界の持続的発展のため本展に協賛。



**協賛**  
(一社)カーボンリサイクルファンド  
会長 小林 喜光  
民間ベースでカーボンリサイクル技術に係るイノベーションの創出や広報を目的に新設。CO<sub>2</sub>を利用する産業の育成等により地方創生や国際連携に貢献。

## 本展は 商談 のための 展示会 です

### 来場対象者

下記 企業・団体の専門家

- 電力・ガス会社
- 発電事業者
- プラントメーカー
- エンジニアリング会社
- メンテナンス会社
- …など

### 商談内容

- ◆ 製品・技術の導入
- ◆ 技術相談
- ◆ 仕様・納期・見積りの打合せ
- ◆ 提携先の選定
- …など

### 出展社

下記のメーカー・商社など

- 発電システム
- CO<sub>2</sub>回収・貯留
- プラント 機器・設備
- 検査・計測・解析
- メンテナンス・保守
- …など

### 来場者登録欄

●ご来場前下記項目にご記入のうえ、名刺2枚を添えて展示会場受付にご提出ください。引換えに入場者バッジをお渡しします。  
●一度登録されますと、会期中3日間有効ですので、入場者バッジの提示で何度でも展示会場にご入場いただけます。●会場内でのカメラ、動画撮影などは固くお断りします。

●来場された方には、今後、DMや電子メールなどにより、弊社の展示会・セミナーの開催案内をさせていただきます。また、報告書などに本展の来場者として氏名を伏せたと社名、所属、役職を掲載することがあります。掲載を希望されない場合は次の□にチェックを入れてください。□ ●展示会来場者数の認証のため、来場確認のお電話をさせていただく場合があります。●弊社は個人情報について細心の注意を払っています。弊社の方針はホームページ(<https://www.reedexpo.co.jp>)をご覧ください。

スマートエネルギー Week内の全ての展示会にご入場いただけます。

アンケートにお答えください。

1. あなたの会社(または団体)の業種は?

- A 電力会社     B ガス事業者     C 発電事業者     D 官公庁・自治体     E プラントメーカー     F 建設・エンジニアリング会社 )
- G 保守・メンテナンス     H 商社・代理店     I 大学・国立公的研究所     J その他( )

2. あなたの職種は?

- A 研究・開発     B 設計     C 生産技術・製造技術     D 品質管理・検査     E 購買・資材     F 設備・工場管理 )
- G 生産管理     H 営業     I 経営・経営計画     J 宣伝・マーケティング     K その他( )

3. あなたの役職は?

- A 社長・役員クラス     B 部長・次長クラス     C 課長クラス     D 係長・主任クラス     E 社員・職員クラス

4. 次回(2021年)の出展について

- A 出展したいので連絡がほしい     B 出展を検討したいので詳しい資料がほしい

TP-12

# エネルギー総合展内で開催！計1,520社<sup>※1</sup>が出展

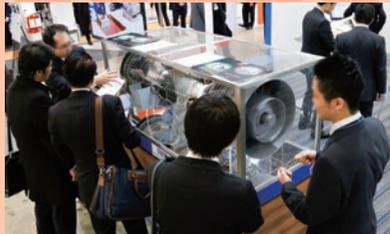
## 会場レイアウト図(西展示棟 4F)

本招待券に掲載の出展社数、来場者数(同時開催展を含む)は、2019年10月17日時点での最終見込み数字であり、開催時には増減の可能性あります。  
 ※1 出展契約企業に加え、共同出展するグループ企業・パートナー企業数も含む。 ※2 青海・南展示棟は、東京ビッグサイトの別棟として新設された会場です。

### 第4回 次世代 火力発電 EXPO 120社が出展

#### 発電システムゾーン プラント機器・設備ゾーン スマートメンテナンスゾーン

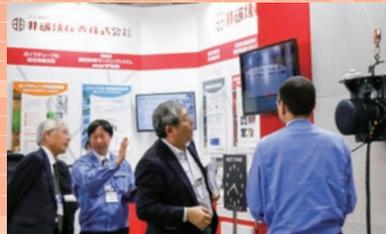
- ガスタービン複合発電
- 石炭ガス化複合発電
- 超々臨界圧発電
- CO<sub>2</sub>分離・回収・貯留技術
- …など



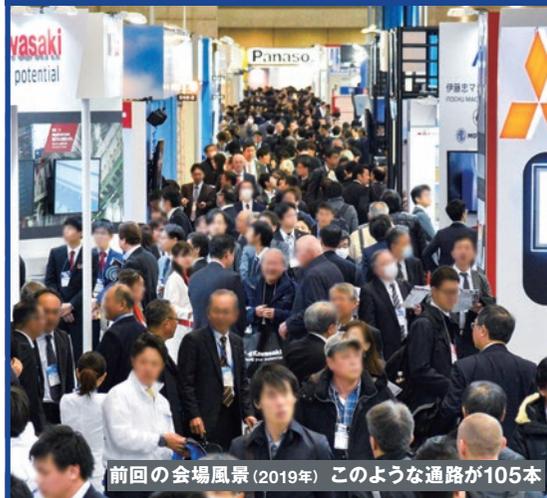
- バルブ/ポンプ
- 脱硝・脱硫装置
- ガス分析装置
- プラント監視・制御
- 熱交換器
- 搬送・コンベヤ
- 計測・解析装置
- …など



- タービン用センサ
- 異常検知・故障予知
- 点検用タブレット
- 肉盛溶接・溶射
- 検査ロボット
- スマートグラス
- 仮設資材
- …など



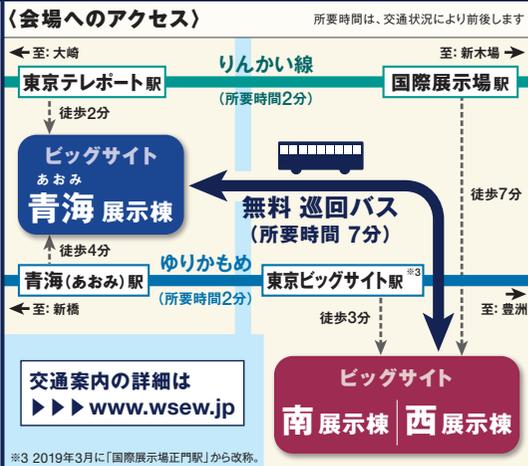
電力会社、プラントメーカー などが  
世界中から70,000名来場



前回の会場風景(2019年) このような通路が105本

本展は 毎年2回開催します  
 2月 東京  
 9月 大阪

## 「青海展示棟」「南展示棟」「西展示棟」 3つの会場に来場ください!



### 全体図

関連8展で計1,520社が出展

本招待券で  
全展に入場可



出展社一覧・セミナープログラムはWebへ

最新情報はWebで公開!

[www.thermal-power.jp](http://www.thermal-power.jp)

- 出展製品
- 見どころ情報
- 会場案内図 …など

出展まだ間に合います

出展社を追加募集!

お問合せは →Tel: 03-3349-8576

まだ本展の招待券をお持ちでない方へ

本PDFをご転送ください

- 関連部署
- 取引先
- 同業者 など

本券1枚につき、1名のみご入場いただけます。